

太陽のもとで輝く笑顔

足羽学園・足羽更生園では、毎年恒例行事の夏祭りが八月に行われます。夏祭りには、利用者の方・ご家族・地域・ボランティアの方・職員家族を含め多くの方が参加する一大イベントです。

こんなに早くから

夏祭りは八月ですが、四月の春先からお祭りを楽しみにしている利用者の方がいます。

春のあたたかさを感じると「盆踊り」と言って盆踊りのリズムを口ずさみニコニコされています。また、お祭りに関する言葉を聞くとすっかりその気になってしまい、明日にでもお祭りがあるかのような気分になってしまいうほど楽しみにしています。



お祭りまで

夏祭りでは、ヨーヨー釣りや焼き鳥・かき氷の販売など多くの出店を開きます。そのため係りの職員が二ヶ月以上前からチケットの作成・資材の準備に奔走しています。

利用者の方が着る着物の準備をしていると、いよいよ夏が来たことを感じ、祭りを楽しむ利用者の方の笑顔が頭をよぎります。

前日になると園内の中庭にやぐらを組み、色とりどりの提灯を頭上に張り巡らせ、明日は晴れることを祈るだけです。

さあ、祭りがはじまるぞ

当日は、みんな浴衣や半被を着て祭りを盛り上げます。この日を楽しみにしていた利用者

の方は、祭りが始まるとご家族

やボランティアの方の手を引いてさっそくお目当ての出店に向かっています。一番人気の焼き鳥屋では長い行列ができ、早く食べたいなどという顔が多く見られます。また、ゲームの景品やヨーヨー釣りがうまく

できると職員にも「こんなの貰ったよ」と笑顔で見せにきてくれます。

夏の暑い日ですが、みんな暑さを忘れているかのように元気いっぱい会場を回っています。



さあ～盆踊りがはじまるぞ

また、踊りの催しが始まると率先して会場の中央で踊りを披露してくれる方、テントの陰で踊りを見て楽しんでいたりなど、いろいろな笑顔があふれています。

分け合う笑顔

慣れないボランティアの方が緊張していると利用者の方から「あっち行こう」「ここにこんなのあるよ」など積極的に話をされることも多くあります。そんな利用者の方の何気ない言葉にボランティアの方も次第に緊張がほぐれ、自然と打ち解けていきます。

そのうち、友だちのように手をつなぎ、出店をまわり食べ物を買ったり、ヨーヨー釣りをしたり、盆踊りを一緒にしたり、とても仲良くなります。



夏祭りをはじめ、いろいろなことでご家族・地域・ボランティアの方のご支援を承っています。

足羽福祉会の理念の一文にある「共に集う、光を求めて」の言葉のように皆様と歩んでいきたいです。



内容については、平成二十年を基に構成されています。